

～平成22年度茨城県骨髓バンクドナー登録会総括～

骨髓バンクを支援するいばらきの会平成22年度活動実績

月	日	曜日	イベント名	会 場	備 考
10	24	日	献血並行登録会	ひたちなかテクノセンター(建設フェスタ会場)	20名登録
	26	火	献血並行登録会	イオンモール水戸内原店	18名登録
	31	日	献血並行登録会	神栖市体育館(消費生活展)	雨天中止
11	2	火	献血並行登録会	鹿嶋市役所	8名登録
	4	木	献血並行登録会	京三電機(株)本社・第1工場	8名登録
	9	火	献血並行登録会	日本メクトロン奥原工場	14名登録
	15	月	献血並行登録会	京三電機(株)・第2工場	2名登録
	17	水	献血並行登録会	かねやフェスタ店	14名登録
12	1	水	寄付贈呈式	建設未来協議会	寄付金36,900円受領 出席: 福間
	8	水	献血並行登録会	キャンセミコンダクターエキップメント	16名登録
	13	月	献血並行登録会	京三電機結城工場	5名登録
	14	火	献血並行登録会	ジョイフル本田荒川沖店	2名登録
	18	土	X'masプレゼント	県立こども病院	福間、小田倉、川井、 和田、伊井
1	18	火	献血並行登録会	イオンモール水戸内原	20名登録

ドナー登録者 合計365名 (32.3%)
献血者数 合計1130名

★平成23年度骨髓バンクを支援するいばらきの会総会開催報告

事務局長 福間 究

平成23年度総会を6月25日くるみ屋さんで開催しましたので結果を報告します。

1. 平成22年度活動報告・・・承認
2. 平成22年度会計・会計監査報告・・・承認
3. 平成23年度活動方針(案)・・・承認
4. 平成23年度予算(案)・・・承認
5. 支部新設及び役員改選・・・承認
 - ・土浦支部を新設、支部長に葭原さんを新任
 - ・取手支部長を貫井さんから染谷さんに交代
6. 新ドナー登録目標設定提案・・・承認
 - ・いばらきの会として、全国のドナー登録目標100万人を目指すことになりました。

なお、総会出席者は12名でした。

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

～平成22年度を振り返って～

会長 伊井義人

昨年の総会で牛島前会長からバトンを受け、はや1年が経ちましたが、会員の皆様方には本当に助けられた1年でありました。心より感謝申し上げます。

今、この1年を振り返ってみても、自分に何ができたのだろうか???という疑問符ばかりが頭の中に渦巻いています。本業や日常の生活にバタバタと追われ、気がついたら1年が過ぎていたというのが正直な感想ですが、当会のモットーである「気負わず、あせらず、できることから楽しく」を実践していき、今後も皆様と楽しくやっていきたいと思っております。

さて、昨年度は骨髄バンクの事業に大きな変化がありました。それは1月から開始された「末梢血幹細胞移植」です。といっても動き始めたばかりで、まだまだドナーが提供時に自由に骨髄提供と末梢血提供を選べるわけではありませんが、少なくとも、これまでの骨髄提供の場合に不適合要件であった腰痛などの方も、これによってドナー登録が可能となったわけです。このように提供方法の選択肢が増えたことにより、登録者増加が期待できることでしょう。

逆に悲しい出来事としては、3月に起こった東日本大震災です。多くの犠牲者の中には、骨髄バンクの仲間のご家族がいらっしゃったということも聞こえてきております。特に隣の福島県などは、原発事故とあいまって、未だ復興へのスタートも切れていない地域もあります。我が茨城県も被災県となりましたが、骨髄移植のコーディネーターにも少なからず影響はあったのではないかと危惧しております。私たちは、一人でも多くの患者さんに生きる希望を与えるために活動をしています。このような状況だからこそ、一丸となって、骨髄バンク活動を継続していかなければならないと強く感じております。

まだまだ未熟な会長ではありますが、今年度も皆さんと一緒に泣き笑いしながら、一つひとつ階段を上って行きたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

1月～3月 茨城県内イベント登録会等報告

1月18日 イオンモール水戸内原店献血併行登録会

ドナー登録者数 20名（受付22名）
献 血 者 数 36名（受付54名）
参 加 者 水戸保健所：田邊 様
いばらきの会 葭原さん
地区普及広報委員 伊井義人

イオンモール水戸内原での登録会は今年度2回目となりますが、場所はいつもの人通りの少ない通路での受付です。そのせいか、やはり午前中は献血に訪れる人も少なく、ほとんど献血待ちの列を作ることはありませんでした。

そんな中、バンクに回って下さる方は約半分の8名と、順調な出だしです。午後になってもバンクの方は次から次という感じでバンク寸前の状態のときもありました。結果的には20名の方が登録して下さいました。声を掛けただけで、既に登録している方は1名ということで、まだまだこの場所での登録会は継続が必要かと感じた次第です。参加された皆さま、大変お疲れ様でした。（伊井義人）

ドナー登録者100万人をめざして！

4月～7月 茨城県内イベント登録会等報告

1月22日・23日 Vリーグ試合会場での広報活動

Vリーグ（バレーボール）試合会場で広報活動を行いました。

これはVリーグ機構の申し出により骨髄移植推進財団が試合会場で骨髄バンクの普及啓発活動を行うことにしたもので、いばらきの会がVリーグ試合会場でPR活動を行うのは数年ぶりになります。

茨城県にはVリーグに加盟しているチームが2つあり、一つは男子の「つくばユナイテッドSunGALIA」と女子の「日立リヴァーレ」です。

最初に広報活動を行ったのは1月22、23日「つくば市・桜運動公園体育館」での「つくばユナイテッドSunGALIA」の試合でした。事前に有志が集まって配布物を袋詰めし、試合当日は会員2名で来場者に配布しました。一人でも多くの方にドナー登録をしていただけたら幸いです。

2回目の試合は3月12、13日「つくばカピオ」、3回目は3月19、20日「常陸大宮市・西部総合公園体育館」でしたが、残念ながら地震のため試合が中止になってしまいました。早く復興し、また茨城県でVリーグの試合が見られるのを楽しみにしています。（福間 究）

5月27日 八千代町役場献血併行登録会

ドナー登録者数 11名（受付13名）
献 血 者 数 87名（受付99名）
参 加 者 筑西保健所：深沢 様
いばらきの会 福間さん
地区普及広報委員 葭原健治（細谷代理）

登録会受付は役場の正面玄関の内側行われどんよりとした曇りの一日でした。

登録会の終わり頃、雨がポツリとありました。午前中の登録者5名で、内2名は保健センターに実習研修中の筑波大学生かたでした。

午後は、血液センタの職員の方が2名登録してくださいました。今回、登録のお願いの中で登録済みの方が7名おいででした。献血バスが2台であったこともあり午前、午後ともそれほど混雑することもなく、少しゆったりとした献血、登録会でした。

参加された皆様、お疲れ様でした。ならびに当日ご協力していただいた方々に感謝いたします。
（葭原健治）

5月31日 日本AEパワーシステムズ献血併行登録会

ドナー登録者数 8名（受付8名）
献 血 者 数 53名（申込61名）
参 加 者 日立保健所：藤田様、日渡様
いばらきの会 瀧さん、井手さん
地区普及広報委員 牛島英二

この会場での登録会は初めての開催で、献血者数はまずまずの実績ですが登録者数は低調な結果となりました。要因として、献血申込みのピーク時（午前と午後の受付開始直後の2回）に満足なささやき作戦ができなかったことと、年齢超過の方が比較的に多かったことなどがあります。特に午前の受付開始は、諸般の事情で会場設営が整う前に献血受付が始まり、十分な対応ができませんでしたので、次回はもっと手際よく会場設営に努めたいと思います。（牛島英二）

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

4月～7月 茨城県内イベント登録会等報告

5月31日 伊奈保健センター献血併行登録会

ドナー登録者数 11名（受付：11名）
献血者数 52名（受付56名）
参加者 つくば保健所：岡田様
いばらきの会 葭原さん、長尾さん、福間明子さん
地区普及広報委員 福間 究

つくばみらい市での登録会は2007年みらい平での建設フェスタ登録会以来でした。伊奈保健センターはつくばみらい市伊奈庁舎と同じ敷地で、献血やドナー登録の多くの方は伊奈庁舎の方でした。今回の献血は伊奈ライオンズクラブ様の後援で、ライオンズクラブの方にもドナー登録していただくとともに、お祭りでの登録会開催のお誘いを受けましたが、献血があればとお答えしました。（福間 究）

6月15日 イオン常陸大宮店献血併行登録会

ドナー登録者数 10名（受付：11名）
献血者数 41名（受付53名）
参加者 常陸大宮保健所：悉知様
いばらきの会 伊井陽子さん
地区普及広報委員 伊井義人

梅雨の合間をぬっての登録会でしたが、幸い雨も降らず時折太陽が顔を出す、絶好の日和でした。午前中は、某保険会社の方々からライオンズさんからの事前呼びかけで集められていたそうで、多くの方々から献血に訪れていました。



そんな中、福島第一原発の3Km圏内の方が登録をされました。この方は、現在、ここ周辺のご親族のところへ避難されており、立ち入り禁止区域の自宅へは戻ることができず、適合通知なども自宅では受け取れない（郵便も配達されない）とのことで、確実に郵便が届く現在の避難先住所を登録して頂きましたが、震災の爪痕を実感したケースでした。このようなケースは、今後も各地で起こりうるかと思えます。

善意の登録希望者が登録できないことにならないよう、臨機応変な対応が今後も必要になることを肝に銘じておきたいと感じた次第です。

また、午後の部では、パタッと献血希望者が途絶えた時間に、問診医のT先生が受付に現れ、「僕も登録しようかなぁ」と。一旦、バスに戻られたあと再度降りてこられ、登録申込書を記入頂きました。以前にも登録会場で問診医の先生が登録して下さいましたが、やはり嬉しいの一言ですね。天候にも恵まれた一日でしたが、温かい善意の気持ちも沢山感じられた一日となりました。

（伊井義人）



ドナー登録者100万人をめざして！

4月～7月 茨城県内イベント登録会等報告

6月15日 筑波大学献血併行登録会

ドナー登録者数 44名（受付：46名）
献 血 者 数 104名（受付137名）
参 加 者 つくば保健所：岡田様
いばらきの会 福間明子さん
地区普及広報委員 福間 究

登録会にはちょうど良い天候で沢山の方に登録していただきました。今までの筑波大学での登録会で一番多かった37人を超える登録数でした。また、献血も今までの最高が85人でしたので19人も増加しました。献血者・骨髄バンクドナー登録者の急増はどうしたのでしょうか。もしかしたら大震災の関係でボランティア精神が増大したのでしょうか。



今日は、つくば献血ルームの2人の方が献血ルームのPRに来ていましたが、1人が献血普及推進員の方でした。多いときには、一度に6人もの登録を行う状況で、説明員3人と保健所さんではとても間に合わず、献血普及推進員の方にも登録事務を手伝っていただきました。大学なのでどうしても授業の合間に登録が集中してしまいます。

10月にも筑波大学で登録会がありますので、その時も多くの方に登録して頂ければと思います。

（福間 究）

6月17日 キヤノン取手事業所献血併行登録会

ドナー登録者数 14名（受付15名）
献 血 者 数 125名（申込143名）
参 加 者 竜ヶ崎保健所：児玉様
いばらきの会 福間さん、長尾さん、葭原さん、貫井さん、染谷さん、稲葉さん、望月さん
地区普及広報委員 牛島英二

今回で5回目となる同事業所での開催で、献血者数は前回は上回る実績となりましたが、ドナー登録者数は前回の半分にも届きませんでした。

要因としては既に登録済みの方が多く、新規の登録者が少なかったことが大きな理由でした。午前中の登録者は4名でしたが、午後からは献血受付を済ませて問診に行く方に一人ひとり声かけしたことが功を奏して午前の倍以上の10名の方に登録していただきました。（牛島英二）

6月21日 下妻市役所献血併行登録会

ドナー登録者数 28名
献 血 者 数 123名（受付146名）
参 加 者 常総保健所：深澤様
いばらきの会 葭原さん、長尾さん、福間明子さん
地区普及広報委員 福間 究（細谷代理）

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

4月～7月 茨城県内イベント登録会等報告

好天に恵まれ、ちょっと暑い感じの登録会でした。3年前はドナー登録10人、献血84人ですのでどちらも大幅な増加となりました。

増えた理由は献血バス2台で昼休みも一台ずつ交代だったので、市役所職員などの献血があったことと、献血の後援が下妻青年会議所と下妻商工会・青年部の方で若い献血の方にドナー登録を勧めてくれたからです。

3年ぶりの下妻市役所での登録会で、以前はバンクのテーブルを置いた所が市役所の受付になっていて、会場の配置に困りましたが、市役所で配置を以前の状態に変えていただくなど協力していただきました。（福間 究）

6月23日 日立プラントテクノロジー土浦事業所献血併行登録会

ドナー登録者数 26名（受付：27名）
献 血 者 数 56名（受付：66名）
参 加 者 土浦保健所：金子 様
いばらきの会 長尾さん、福間さん
地区普及広報委員 葭原健治

登録会開始時には、少し雨模様で蒸し暑い午前中でしたが、午後は日が差し、あつい日になりました。会場は、社員食堂の片隅をお借りして行いましたが、昼休みには撤収するので少しあわただしかったです。昼食時間前から空調が入り午後は快適な環境でしたが、多くの方がおいでになり、あたたかとしておりました。



午前中は、献血、バンク登録とも低調に終わりましたが、昼休み直前から太陽の強い日差しになり献血、バンク登録とも厳しいかなと思いましたが予想を裏切られ、午後の申し込み開始から3時頃まであわただしい午後となりました。混雑時は、献血申し込み手続き・採血待ちに15人程度並び、バンク登録も説明員3人でフル回転での説明が続きました。おかげさまで、登録者数26名を数えることが出来ました。参加された皆様、お疲れ様でした。（葭原健治）

7月7日 日立電線(株)日高工場献血併行登録会

ドナー登録者数 7名（受付7名）
献 血 者 数 116名（申込132名）
参 加 者 日立保健所：藤田様、日渡様
いばらきの会 瀧さん
地区普及広報委員 牛島英二



この会場での登録会は2回目の開催で、献血者数は前回実績を超える好成績ですが、登録者数は低調な結果となりました。

献血は2台の献血バスの間にテントを設営しての屋外受付でしたが、ドナー登録会場はすぐ近くの診療所内に設けて受付を行いました。

午前中は献血受付開始直後から献血者が多数来場し、一時は献血受付に長い列ができるほどで、ささやき作戦と共に受付待ちの方々にドナー登録の呼びかけを

ドナー登録者100万人をめざして！

4月～7月 茨城県内イベント登録会等報告

行いましたが残念ながら反応は鈍く、献血者数の多さに比べて登録者数は伸びませんでした。ドナー登録された方の中には、献血終了後に登録受付された方が数名あり、針の二度刺しをご了解いただいた上でご登録いただきました。

また献血された方の中にドナー登録済みの方がおられて、その方によれば3年間で2回適合し、いずれも確認検査で異常値が見つかり、終了になったとのことでした。その方にはいずれ再適合の可能性があることと、ご自身の健康状態を改善していただくようお願いしました。

(牛島英二)

7月7日 ベイシア古河総和店献血併行登録会

ドナー登録者数 11名(受付:12名)
献血者数 46名(受付:64名)
参加者 古河保健所 : 村田様
いばらきの会 福間さん 葭原さん
地区普及広報委員 細谷栄一

屋外での登録会ということもあり、雨の予報もありましたので心配しておりましたが何とか降られずに済みました。気温も割りと過ごしやすく、7月早々に続いた暑さも一休みしてくれたようです。登録者数も11名の方にご登録いただきました。

殆どがベイシアの従業員の方やアルバイトの方だったようで皆様に感謝いたします。参加された皆様本当にお疲れ様でした。(牛島英二)

7月13日 三菱化学(株)鹿嶋事業所献血併行登録会

ドナー登録者数 7名(受付:7名)
献血者数 42名(受付:47名)
参加者 潮来保健所 : 高安様
いばらきの会 福間さん
地区普及広報委員 葭原健治

登録会開始時は、曇天でそれほど熱くはありませんでしたが、昼前には日差しが強くなり、暑い日になりましたが、一日中、のぼりがはためき倒れるほどの風があった一日でした。

会場は、昨年同様の建物でしたが社員食堂が廃止になり、献血に訪れる方以外には会議に参加される方がいらした程度で、バンクのパンフレットを配布する機会に恵まれませんでした。

また、バンク登録済みの方が、10名、採血終了後に、訪れ説明を受けチャンスを持ち帰った方が1名。午前中は、献血、バンク登録とも低調に終わりましたが、昼休み後献血される方が多くなり、バンク登録の増加を期待しましたが、既登録の方が多く登録は、7名に終わりました。全体的に、献血、バンク登録ともに混雑することがほとんどなく待ち時間が少なく、ゆったりとした登録会でした。参加された皆様、お疲れ様でした。また、当日ご協力していただいた方々に感謝いたします。

(葭原健治)

7月26日 航空自衛隊百里基地献血併行登録会

ドナー登録者数 43名(受付45名)
献血者数 109名(申込123名)
参加者 水戸保健所: 飯村様
いばらきの会 葭原さん、長尾さん
地区普及広報委員 伊井義人

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

4月～7月 茨城県内イベント登録会等報告

炎天下の中、会場設営で、すでに汗だくとなりながら受付が始まりました。献血バスも2台ということもあり、午前中はさほど混み合わないで献血が進んで行きました。バンク登録のほうも献血に比例するように順調に伸びていきました。お昼休みが一番混み合うということでしたので、早めに交代で昼食をすませ、気合いを入れ直して臨みました。一時、バンクの受付待ちも出るほどの盛況ぶりで、説明員一人で一度に3人説明することもありました。午後はまた午前中のようなペースで順調に進んでいき、気がつけば、あっという間に受付時間も残りわずかとなってしまいました。結果、43名もの方に登録をいただきましたが、やはり自衛官の皆様の意識が高いことがこの結果をもたらしたものと推察しております。

ここでの登録会は毎年実施（涼しい頃に）できれば有り難いと思います。参加された皆様、炎天下での登録会、本当にお疲れ様でした。

余談ですが、数人の方から「採取の時はとても痛いと聞いている」という言葉を聞きました。過去、バンクの骨髓提供ではなく、骨髓採取をされたどなたかが話されたことが、隊員の中に広がっているように感じました。

やはり、バンクの正確な知識・理解を得るための広報活動が重要ではないかと感じた次第です。

(伊井義人)

7月28日 ウイズ鉾田店献血併行登録会

ドナー登録者数 6名 (受付6名)
献 血 者 数 49名 (申込61名)
参 加 者 潮来保健所：高安様、井坂様
いばらきの会 福間さん
地区普及広報委員 葭原健治

献血、ドナー登録会は駐車場の一角で行われました。

開始時から雨でしたが昼前には雨が上がり蒸し暑くなり、登録会終了ごろまで雨は、降りませんでしたが、かたずけのときに雨が降り出しました。

ドナー登録は、献血をする方が順調に推移するのに反し、一人の登録もなく雨がやまず、折れそうでしたが、午前の受付終了間際に2名の方の登録があり、午後に期待が膨らみました。

会場の駐車場は、午前中は車で混雑していましたが、午後はかなり空きスペースが多くなり、登録者が増えるか心配になりましたが、4名の登録があり、全体で6名の方に登録をしていただきました。全体的に、献血、バンク登録ともに混雑することがほとんどなく待ち時間が少なく、ゆったりとした登録会になりました。

参加された皆様、お疲れ様でした。また、当日ご協力していただいた方々に感謝いたします。

(葭原健治)

☆骨髓バンクドナー登録者の増進について

5月に県庁で開催された茨城県薬務課主催の骨髓バンク担当者会議の折、薬務課より県内の骨髓バンクドナー登録者が減少している（平成22年度の登録者は、献血併行登録会が過去5年の平均値の73%に、献血ルームでの登録者は、過去5年の平均値の35%に減少しています）

①ドナー登録会の回数を増やしてほしい。

②献血ルームでのドナー登録者の増加を図りたい。

との要望がありました。①については保健所を中心に登録会を増やす努力をしています。②については、献血ルームに配属されている献血普及推進員の活用を主体に、地区普及広報委員が県内3献血ルームでドナー登録増加に向けての活動を6月から開始しました。（福間 究）

ドナー登録者100万人をめざして！

4月～7月 茨城県内イベント登録会等報告

【献血ルーム広報活動報告】

6月20日 日立献血ルーム（担当：福間 究）

ドナー登録数：0人（登録済献血者：1人）

チャンス配布数：18部（献血者には8部ですが、会社の人に配りたいという献血者に10部渡しました）所長との調整で献血業務に支障が起きないように、私がルーム内でドナー登録業務を行わないことにしました。献血終了者にチャンスを渡しながら、次回の献血時のドナー登録を呼びかけ、希望された方にはバンクについての説明を行うことにしました。

6月22日 つくば献血ルーム（担当：葭原健治）

ドナー登録数：4人（説明のみ：3名（申込用紙に説明員名と説明員番号記入）、登録済：7人）

チャンス配布数：6部

県作成のパンフレット21部

つくばルーム所長さんから献血受付でドナー登録はいかがですかと声をかけていただきましたが、結果としては、4名にとどまりました。私は、9時半から17時まで広報活動をしました。17時時点で献血申し込みが61名で普段より忙しい様子でしたので、流れを妨げないよう少し気を使いました。県パンフを渡し、考えますという方にチャンスを渡し、次回の献血時にドナー登録のお願いをしました。はじめばかりですので、これから地道に続けることが大切と感じました。献血ルームで登録できることが浸透すればよいと思いました。

6月24日 水戸献血ルーム（登録済献血者：1人）（担当：福間 究）

ドナー登録数：0人（登録済：3人）

チャンス配布数：33部

日立献血ルームと同じように、献血終了者にチャンスを渡し、次回献血時にドナー登録も一緒にしてもらうようにお願いしました。

7月15日 水戸献血ルーム（担当：福間 究）

ドナー登録数：0人（登録済：1人）

チャンス配布数：29部

7月21日 つくば献血ルーム（担当：葭原健治）

ドナー登録数：7人（登録済：5人）

チャンス配布数：4部 県作成のパンフレット26部

台風が通り過ぎ、北寄りの風が吹き、半袖では少し肌寒い一日でした。

そのためか、10時少し前に献血ルームに着きましたが、献血受付開始を待つ方が10人弱おいでで、献血はあわただしそうでした。

骨髓バンクドナー登録は、午前中に3名、登録済みの方が3名で前回献血ルームでの登録数を超えるかなという期待が持てました。午後は、午前と違って、それほど込み合うこともなくのんびりと推移しましたが、登録者は4名もあり、そのほとんどの方がバンクのドナー登録が何処でできるのか分からないという方々でした。

私が活動を終えた16時50分時点で献血申し込みが46名で普段より多いというをルームの所長

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

4月～7月 茨城県内イベント登録会等報告

さんがおっしゃっておいりました。先月の活動でも感じましたが、献血ルームでバンクのドナー登録ができることを多くの方に知っていただけることが大事と感じました。

☆☆☆☆☆☆☆☆

うしの歌題

☆☆☆☆☆☆☆☆

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」

この度の東日本大震災で被災された方々に心から哀悼の意を表します。

死者・行方不明者合計2万2千人以上という被害の甚大さにとても心が痛みます。

私たちの活動は、「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」を理念として実施していますが、震災で亡くなられた方のあまりの多さに言葉も無く、ただただ無念の思いが募ります。しかしながら現在でも骨髄移植を待つ多くの患者さんのことを思い、前を向いて一歩ずつ進んでいきましょう。

さてご承知の通り、掲題の趣旨は世の中で出世して偉くなった人ほど謙虚な態度をとるようになる（なるべきだ）との意ですが、自分を偉ぶって言うつもりは無く、処世訓として座右の銘にしたい位の名文句です。

人間、年を重ね経験を多く積むほど、たくさんの人々のお世話になり、感謝すべき人々が次第に増えていくというのが本音の実感で、他人に対する感謝の心がいかに大切かを身をもって感じる今日この頃です。逆に言えば、若く経験の少ない人ほど他人に感謝する心など持ち合わせておらず、謙虚さなど他人事のような振る舞いをしがちということでもあります。

また同じような年代でも人によりその差は大きいものがあり、誰もがこのような態度を取れるかというとはなはだ心もとないところです。だからこそ、掲題の意味するところを良く感じ取って欲しいものです。

☆会員便り☆

先日、趣味を通じて交流のあった女性の友人がALLによって発症した肺炎により亡くなりました。バンクの活動を通じて身近に亡くなった方がいなかった事もありショックを受けています。骨髄移植では間に合わない為臍帯血移植をし順調に回復していたのですが、体力に限界があったようです。本人のブログをすべて読みましたが4度の再発をするような壮絶な1年半の闘病ではありましたが、何度も外泊は出来ていたようでその間2度ほどお会いしました。外見は元気そうにしていただけに多くの仲間もショックを受けていました。偶然にも自分がこの活動に関わっていた事に不思議な縁を感じました。お通夜に参列させてもらいましたが、本人はまさしく“眠っている”と言う表現がふさわしいくらいの表情をしていたのがせめてもの救いでした。お姉様の意向で花嫁衣裳に見立てた装束とお姉様の内掛けが掛けられていた姿を見て多くの友人の涙を誘っていました。あらためてこの活動の意義を感じました。

小田倉孝夫

ドナー登録者100万人をめざして！

骨髓バンクのボランティアを応援してください

骨髓バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髓バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義：00110-3-127575

加入者名義：骨髓バンクを支援するいばらきの会

事務局からのお知らせ

心のこもったご寄付をありがとうございました。(2011. 4. 1~7. 30)

- ♥ 大屋隆子様 (3,000円)
- ♥ 牛島英二様 (2,000円)
- ♥ 伊井義人様 (10,000円)
- ♥ 小田倉孝夫様 (3,000円)
- ♥ 山崎楊久・晃子様 (6,000円)
- ♥ 福間究様 (2,000円)
- ♥ 望月正憲(笑和会)様 (2,000円)

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髓移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。<http://www.jmdp.or.jp/index.html>

編集後記

○東日本大震災から4ヶ月以上たった今でも落ち着かない日々が続いています。早く安息できる日々が来ることを願わざるを得ません。
(編集担当 小田倉孝夫)

日本骨髓バンク骨髓提供希望者(ドナー)登録者数:385,349人(県内7,599人)
骨髓移植希望者(患者数):2,776人(海外1,490 県内24人)
バンクを通じての移植例数13,072例(海外204県内移植数221例、県内採取数255例)
(2011年06月末現在)

(財)骨髓移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

財団フリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！